



## トラブルシューティング

---

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換 \(1 ページ\)](#)
- [サーバ接続の変更 \(2 ページ\)](#)

### Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換

ハードウェアを Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバの管理型ファームウェア コンポーネントと交換すると、サーバの検出に失敗することがあります。この原因としては、ハードウェアのファームウェアの破損、またはハードウェア コンポーネントのファームウェアに互換性がないことが考えられます。次の手順を実行して、ハードウェア交換後にサーバファームウェアの破損や非互換性が原因で、サーバの検出が失敗しないようにします。

- 
- ステップ 1** 右クリックして、[Server] -> [Server Maintenance] > [Decommission Server] の順に選択し、サーバを停止します。
- ステップ 2** VIC を FI (該当する場合は FEX) に接続しているケーブルを外します。
- ステップ 3** Cisco UCS Manager からサーバを取り外します。
- [Equipment] > [Decommissioned] を選択します。
  - サーバを右クリックして、[Remove] クリックします。
- ステップ 4** サーバを再起動して、CIMC を工場出荷時の設定にリセットします。
- ステップ 5** サーバの MGMT ポートに 1G ケーブルを接続し、スタンドアロン アクセス用に設定します。
- ステップ 6** すべてのサーバファームウェアのイメージを再作成して、Cisco UCS Manager ファームウェア バンドルの CIMC バージョンとサーバを一致させます。
- シスコのソフトウェア ダウンロード サイトから、Cisco UCS Manager でこのサーバに適用されるホストファームウェア パッケージに対応した CIMC バージョンの Host Upgrade Utility (HUU) をダウンロードします。

b) スタンドアロン KVM でサーバを起動し、HUU パッケージを実行します。

ファームウェアのアップグレードの詳細な手順については、前のステップでダウンロードした HUU CIMC バージョンに対応した『[Host Utility Upgrade User Guide](#)』を参照してください。

**ステップ 7** サーバを再起動して、CIMC を工場出荷時の設定にリセットします。

**ステップ 8** 電源ケーブルを 30 秒間外します。

**ステップ 9** アップリンク ケーブルを再接続します。

**ステップ 10** 電源ケーブルを接続して電源を入れます。

**ステップ 11** Cisco UCS Manager にサーバが表示されることを確認します。表示されるまで数分かかることがあります。

**ステップ 12** ラックサーバディスカバリ ポリシーが「ユーザ確認」に設定されている場合は、サーバが表示されたらサーバを再確認します。

## サーバ接続の変更

Cisco UCS Manager 統合ラック サーバが接続されているポートのマッピングを維持します。

統合ラック サーバまたはシャーシのケーブルを別のファブリック インターコネクト (FI) ポートに移動する場合は、次の手順に従う必要があります。

**ステップ 1** 移動する必要があるラック サーバ(または、該当する場合は S3260 シャーシ)の供用を停止します。

- a) [ナビゲーション (Navigation) ] ペインで [機器 (Equipment) ] をクリックします。
- b) [機器 (Equipment) ] > [ラック マウント ([Rack Mounts) ] > [サーバ (Servers) ] の順に展開します。 >  
>
- c) 供用を停止するサーバを選択します。
- d) [作業 (Work) ] ペインで、[全般 (General) ] タブをクリックします。
- e) [アクション (Actions) ] 領域で、[サーバのメンテナンス (Server Maintenance) ] をクリックします。
- f) [メンテナンス (Maintenance) ] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
  1. [デコミッション (Decommission) ] をクリックします。
  2. [OK] をクリックします。

ノードが Cisco UCS 設定から削除されます。

**ステップ 2** VIC を FI (該当する場合は FEX) に接続しているケーブルを外します。

**ステップ 3** ケーブルを FI (該当する場合は FEX) の新しいポートに接続します。

**ステップ 4** サーバ(または、該当する場合は S3260 シャーシ)を再稼働します。

- a) [ナビゲーション (Navigation) ] ペインで [機器 (Equipment) ] をクリックします。
- b) [作業 (Work) ] ペインで [デコミッション (Decommissioned) ] タブをクリックします。

- c) 供用を再開する各シャーシの行で、[リコミッション (Re-commission)] チェックボックスをオンにします。
- d) [変更の保存 (Save Changes) ] をクリックします。

**ステップ 5** Cisco UCS Manager にサーバが表示されることを確認します。表示されるまで数分かかることがあります。

**ステップ 6** サーバの再稼動と検出の進行状況を、そのサーバの [FSM] タブでモニタします。

---

